

いた。

C. 結果および考察

1. 歯科保健事業の企画・運営希望者における性差、年齢差の分析

対象者を歯科保健事業の企画・運営を「希望している群 (130名)」、「希望しているが事情があって実際には携われないと考えている群 (204名) (以下：事情がある群)」、「希望していない群 (222名)」の3群に分け、性、年齢階級による差があるか否かを χ^2 検定によって分析した。その結果、運営希望の有無には性差が認められ、女性の希望者が多いことが示された。また、母比率の多重比較検定の結果、「希望していない群」における男性の比率は「事情がある群」における比率を有意に上回っており、男性は女性と比較して運営参加に対して「参加するか否か」明確な態度を有しており、「事情」を不参加の理由とする者の割合が少ないことが推測された。また、年齢階級による差は認められなかった。

2. 事業の企画・運営に対する態度と社会活動状況、社会活動意識の関連性

事業の企画・運営に対する態度によって、実際の社会活動状況および社会活動に関する意識に差があるか否かを一元配置分散分析、多重比較検定 (Bonferoni 法) によって分析した。

その結果、質問紙調査 (表8) に用いた全ての項目に有意差が認められた。表1に「希望している群」、「事情がある群」、「希望していない群」の3群別の回答の平均値と多重比較検定の結果を示した。すべての項目において「希望している群」と「希望

していない群」において有意差が認められ、「希望している群」は社会活動に積極的に参加しており、社会活動に対する意識も肯定的であることが示された。さらに、「希望する群」と「事情がある群」の間においても差が認められたのは、サークル活動、歯磨きボランティア活動への参加状況であり、これらの活動への参加を決定する要因と歯科保健事業の運営参加を決定する要因は類似している可能性が示された。また、「ボランティア活動に参加することは人生を豊かにする」、「病気は自分自身が気をつけることによって予防できる」という意識は3群間のすべての組み合わせで有意差が認められ、「希望している群」、「事情がある群」、「希望していない群」の順で肯定的であることが示された。さらに「ボランティア活動は暇な人が行えばよい」、「ボランティア活動に参加するための時間調整が困難」の項目では、「希望していない群」は「希望している群」および「事情がある群」と比較して有意に強く考えている傾向が示された。

これらの結果から、「事業の企画・運営への参加意識」を妨げる要因としては「時間」があり、促進要因としては「価値観」、「セルフケア意識」があることが推測された。

3. 事業の企画・運営に対する態度と余暇活動の関連性

運営に対する態度と余暇活動の関連性を χ^2 検定によって分析した。その結果、余暇活動として「休息」、「読書」、「社会活動」をあげている者の比率に差が認められた ($p=0.002$ 、 $p=0.033$ 、 $p=0.008$)。すなわち、「読書」、「社会活動」を余暇活動としている者の比率は「希望している群」で高い

傾向にあり、「休息」においては「希望していない群」で高い傾向にあった。また、「事情がある群」は常に中間の値をとっていたが、「休息」においては「希望しない群」より有意に低い傾向にあった。これらのことから、余暇活動として何をするかという価値観が事業の企画・運営に対する態度とかわることが示された。

4. 社会活動状況の潜在因子の抽出

社会活動状況を示す 6 項目における潜在因子を抽出するため因子分析を行った。因子抽出法には主成分分析を、因子回転にはバリマックス回転を用いた。6 変数をデータとした因子分析において固有値 1.00 以上の共通因子が 2 個抽出された。累積寄与率は 69.3%であった(表 2)。バリマックス回転後の因子負荷量を表 3 に、各項目の因子空間における配置を図 1 に示した。第一因子は活動主体(行政主体か住民主体か)、第二因子は活動参加への意思決定(自己決定かそうでないか)を示すものと解釈された。

5. 社会活動に関する意識の潜在因子の抽出

社会活動意識に関する 6 項目についても同様に因子分析を行い、結果を表 4、表 5、図 2 に示した。第一因子は価値観(社会関係重視か個人生活重視か)、第二因子は行動の自己責任感を示すものと解釈された。

6. 歯科保健事業の企画・運営に関わる態度と潜在因子の関連性

因子分析の結果得られた社会活動状況、社会活動意識に関する 4 つの因子の因子得点を用い、企画・運営に関わる態度によって差があるか否かを一元は位置分散分析を

用いて分析した。社会活動状況に関する因子は第 1 因子、第 2 因子、社会活動意識に関する因子は第 3 因子、第 4 因子として、それぞれの平均値を表 6 に示した。

分析の結果、第一因子では「希望している群」が「希望していない群」より有意に低い値を示し、住民主体型の活動に参加する傾向にあることが示された。第二因子の得点は「希望している群」で最も低く、個人意思で参加する活動への参加状況が良い傾向にあることが示された。第 3 因子の得点は「希望している群」で最も高く、他の 2 群と比較して社会性を重視した価値観を有していることが示された。また、この因子においては、「希望している群」と「事情がある群」との間にも有意差が認められ、希望している状態からさらに実行の段階に至るためには、その人が「個人生活を重視するのか、それとも社会生活を重視するのか」という価値観が強く関わっていることが示された。第 4 因子では「希望している群」、「事情がある群」は「希望していない群」と比較して有意に低い値であり、行動に対する自己責任の意識が強い傾向にあることが示された。

7. 各因子と性・年齢の関連性の分析

対象者を 20 代男性から 70 代女性まで 12 分類した。性・年齢階級によって因子得点に差があるか否かを一元配置分散分析、多重比較検定によって分析した。

その結果、表 7 に示すように、第 1 因子の得点は 20 代男性、20 代女性において他の年代より高く、この年代では住民主体の社会活動より行政主体の社会活動に参加する傾向にあることが示された。第二因子の

得点は70代男性、70代女性が30代女性より高く、活動参加の決定が個人の自己決定によるものである傾向が示された。第3因子の得点は50代男性が高く、この年代は社会性を重視した価値観を有していることが示された。第4因子では、70代男性が他の年代に比較して低い値を示し、行動の自己責任感が弱い傾向にあることが示された。

8. 事業の企画・運営に対する意識と4つの因子の関連性

住民参加による歯科保健事業の企画・運営に対する積極性と地域住民の社会活動に対する態度・意識の関連性を相関分析によって検討した。企画・運営に対する積極性の評価には5段階の順位得点を、地域住民の社会活動に対する態度と意識の評価には4つの因子の因子得点を用いた。結果を表8に示した。企画・運営に対する積極性と最も強い相関関係を示したのは第2因子であり、ついで第3因子であった。このことは、現段階で、個人的意思によって社会活動に参加している人、社会性を重視した価値観を有している人ほど、住民主体型歯科保健

事業の企画・運営に携わりたいと考えている傾向にあることが示された。

D. 結論

本分析の結果、住民主体型歯科保健活動の促進要因として、「社会参加への自己決定」、「社会性を重視した価値観」があることが認められ、50代男性がその要因の影響を強く受けている可能性が示された。また、阻害要因として存在する「時間」は価値観によって変化することが推測された。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産の出願・登録状況

なし

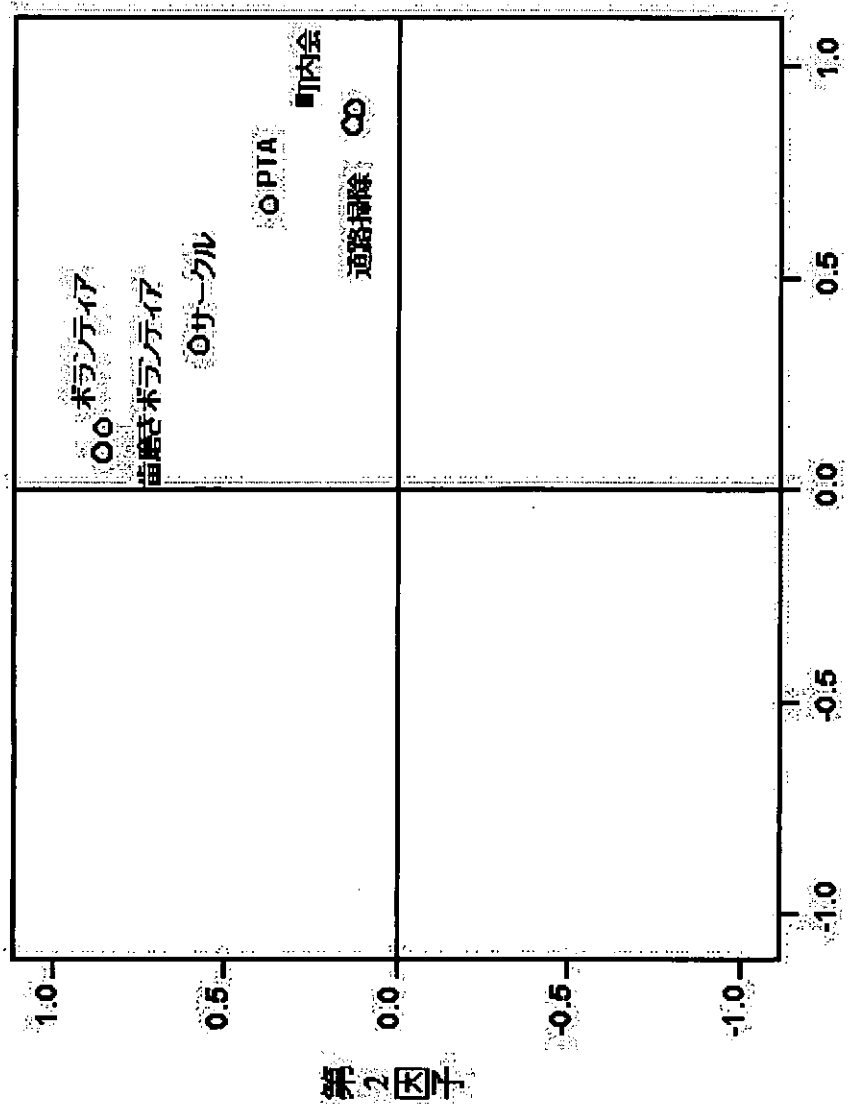
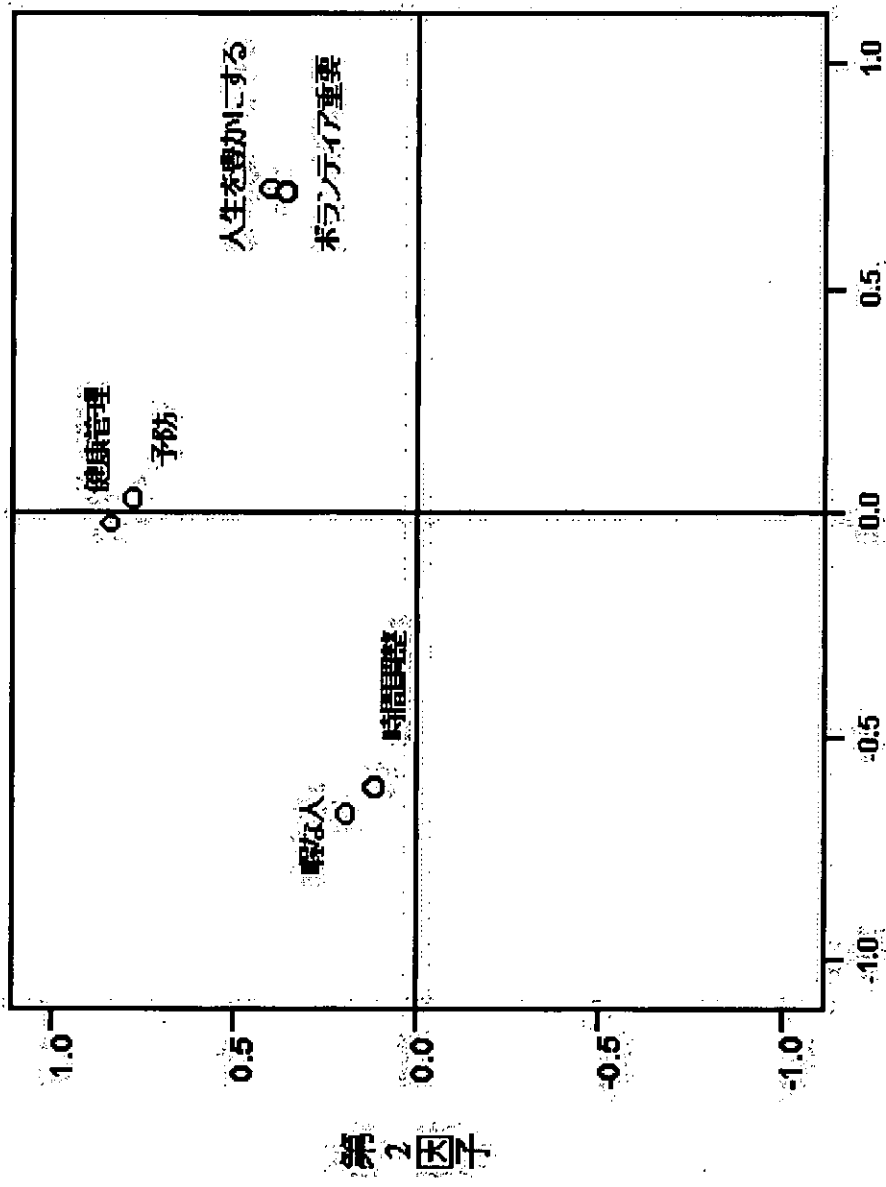


図1 社会活動状況に関する因子負荷量プロット



第1因子

図2 社会意識に関する因子負荷量プロット

表1 事業の企画・運営に対する態度と社会活動状況、社会活動意識の関連性

	希望している(①)	準備がある(②)	希望していない(③)	有意差*
町内会	1.50	1.80	2.22	①×③ ②×③
サークル	1.95	2.39	2.93	①×② ①×③ ②×③
道路掃除	0.47	1.86	2.22	①×③ ②×③
PTA	2.10	2.36	3.22	①×③ ②×③
ボランティア活動	2.47	2.76	3.57	①×③ ②×③
歯磨きボランティア	2.75	3.24	4.19	①×② ①×③ ②×③
人生を豊かにする	1.92	2.21	2.69	①×② ①×③ ②×③
ボランティア重要	2.05	2.22	2.61	①×③ ②×③
暇な人	3.81	3.57	3.49	①×② ①×③
時間調整	3.03	2.49	2.41	①×② ①×③
予防	2.14	2.38	2.60	①×② ①×③ ②×③
健康管理	2.68	2.79	3.02	①×③ ②×③

(多重比較検定: Bonferroni法、*: 有意差があった群間を示す)

表2 社会活動状況因子の因子固有値と累積寄与率

	固有値	寄与率	累積寄与率
第1因子	2.9996	49.935	49.935
第2因子	1.164	19.401	69.336

表3 回転後の社会活動状況因子の因子負荷量

社会活動の種類	第1因子	第2因子
町内会	0.895	0.133
サークル	0.339	0.582
道路掃除	0.872	0.133
PTA	0.671	0.385
ボランティア	0.115	0.859
歯磨きボランティア	0.145	0.860

表4 社会意識因子の因子固有値と累積寄与率

	固有値	寄与率	累積寄与率
第1因子	2.132	35.530	35.530
第2因子	1.415	23.580	59.111

表5 回転後の社会意識因子の因子負荷量

社会意識の種類	第1因子	第2因子
人生を豊かにする	0.721	0.412
ボランティア重要	0.709	0.368
暇な人	-0.676	0.196
時間調整	-0.614	0.119
予防	0.027	0.785
健康管理	-0.030	0.845

表6. 事業の企画・運営に対する態度と社会活動状況・社会活動意識因子の関連性

	希望している(①)	事情がある(②)	希望していない(③)	有意差*
第1因子	-0.236	-0.722	0.152	①×③
第2因子	-0.634	-0.368	0.545	①×③ ②×③
第3因子	-0.559	-0.057	0.348	①×② ①×③ ②×③
第4因子	-0.250	-0.005	0.248	①×③ ②×③

(多重比較検定: Bonferroni法、*: 有意差があった群間を示す)

表7 社会活動状況因子と性・年齢階級の関連性

	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子
20代男性(20M)	0.8584	0.2933	0.2543	0.2584
20代女性(20F)	1.2740	-0.1584	0.0610	0.3544
30代男性(30M)	0.1445	0.2520	0.2432	0.1929
30代女性(30F)	0.1834	-0.4567	0.0992	0.2456
40代男性(40M)	-0.0080	0.2112	0.3606	0.2156
40代女性(40F)	-0.3747	-0.3016	0.0566	0.2456
50代男性(50M)	-0.2165	0.1953	0.5605	-0.2396
50代女性(50F)	-0.4930	-0.3125	-0.1662	0.1152
60代男性(60M)	-0.1633	0.2102	-0.3817	-0.2483
60代女性(60F)	-0.3443	0.2066	-0.0991	-0.1436
70代男性(70M)	0.2763	1.0032	-0.551	-0.6953
70代女性(70F)	0.4762	1.0219	1.0219	0.1120
	20M x 40F	30F x 70M	50M x 50F	70M x 20F
	50M	70F	60M	30M
	50F		60F	40M
	60F		70M	40F
	20F x 30M			50F
	40M			
	40F			
	50M			
	50F			
	60M			
	60F			
有意差が認められた群間				

(多重比較検定: Bonferroni法、* : 有意差があった群間を示す)

表8

社会活動についての意識調査

1. あなたの性別を教えてください。

- ① 男 ② 女

2. あなたの年齢を教えてください。

()歳

3. あなたは、普段の休日や余暇をどのように過ごしていますか。あてはまる項目すべてに○印をつけて下さい。

- ① 家で休息、ごろ寝、テレビ
- ② 読書や調べごと
- ③ 家族とのだんらん
- ④ 家事雑用
- ⑤ スポーツ
- ⑥ ドライブ
- ⑦ パチンコやマージャン
- ⑧ 趣味
- ⑨ 社会活動
- ⑩ 病院通い
- ⑪ 仕事でつぶれる
- ⑫ その他 ()

4. あなたが地域社会のために行っている活動についておうかがいします。次の各活動について、あなたの考えにもっとも近いものを下記の①から⑤の中から一つ選択し、番号を()の中に記入して下さい。

- ① 参加している・参加したことがある
- ② 参加したいと思う
- ③ 参加したいと思うが事情があって参加できない
- ④ あまり参加したいとは思わない
- ⑤ 全く関心がない

- 1) 町内会・自治会 ()
- 2) 趣味の講習会やグループ・サークル活動 ()
- 3) 道路や公園の草取りや清掃 ()
- 4) PTAの集まりや活動 ()
- 5) 老人や障害者の援助ボランティア ()
- 6) 歯磨きボランティア ()

5. あなたは、ボランティア活動についてどのようなご意見をおもちですか。次の項目について、あなたの考えに一番近い答えを一つだけ選択し、○印をつけて下さい。

1) ボランティア活動に参加することは人生をより豊かにする

- ① 全くその通りだ ② その通りだ ③ どちらともいえない、
④ そうだとは思わない ⑤ 全然そうだと思わない

2) ボランティア活動に参加することは大事なことだ

- ① 全くその通りだ ② その通りだ ③ どちらともいえない、
④ そうだとは思わない ⑤ 全然そうだと思わない

3) ボランティア活動は暇な人だけがやればよい

- ① 全くその通りだ ② その通りだ ③ どちらともいえない、
④ そうだとは思わない ⑤ 全然そうだと思わない

4) ボランティア活動に参加するために仕事や家事・育児の調整をするのは難しい

- ① 全くその通りだ ② その通りだ ③ どちらともいえない、
④ そうだとは思わない ⑤ 全然そうだと思わない

6. 病気にかかるということについて、次のような考え方をどう思いますか。あなたの考えに一番近い答えを一つだけ選択し、○印をつけて下さい。

1) 病気は自分自身で気をつけることによって予防することができる

- ① 全くその通りだ ② その通りだ ③ どちらともいえない、
④ そうだとは思わない ⑤ 全然そうだと思わない

2) 人が病気になるのは、それまでの生活の仕方や健康管理に問題があったからである

- ① 全くその通りだ ② その通りだ ③ どちらともいえない、
④ そうだとは思わない ⑤ 全然そうだと思わない

7. あなたは町が町民の歯の健康を守るために歯科保健事業を実施するとしたら、参加したいと思いますか。あなたの考えに一番近い答えを一つだけ選択し、○印をつけて下さい。

- ① ぜひ参加したいと思う
② 参加したいと思う
③ 参加したいと思うが事情があって参加できない
④ あまり参加したいとは思わない
⑤ 全く関心がない

8. あなたは町が歯科保健事業を実施するとしたら、ボランティアとして事業の企画や運営に携わりたいと思いますか。あなたの考えに一番近い答えを一つだけ選択し、○印をつけて下さい。

- ① ぜひ携わりたいと思う
② 携わりたいと思う
③ 携わりたいと思うが事情があって携れない
④ あまり携わりたいとは思わない
⑤ 全く関心がない

御協力ありがとうございました。